「ネクストふくい観光ビジョン（仮称）」の骨子案

資料1

基本理念

しあわせ発掘ふくい ～知るたび、幸せになる旅～
 福井を訪れるたび、知られざる福井の魅力を発掘し、知るたび(度・旅)、幸せになる旅を旅行者に届ける。旅行者に選ばれることで地域に対する県民の愛着や誇りを高め、本県の観光を次世代につなげる。

位置づけ

福井県長期ビジョンの分野別計画

計画期間

令和7年度～令和11年度(5年間)

策定の趣旨

- ・北陸新幹線の開業、中部縦貫道の県内区間整備などにより、観光・ビジネス両面でアクセスが向上した本県への注目度は格段に高まっており、観光需要拡大の好機を迎えている
- ・国内の旅行者は人口減少、少子高齢化の進展により将来的に減少が見込まれており、高付加価値旅行者の誘客が重要となっている。
- ・日本の豊かな自然、文化、食を求めて訪日する外国人旅行者は全国的に急増しており、本県においても、その潮流をしっかりと掴んで観光を未来につなげていく必要がある。
- ・本ビジョンは、行政や各種団体、事業者、県民それぞれが、観光が地域の発展に果たす役割、相互の幸福に繋がる効果など重要性への理解を深め、共通認識のもと観光の持続的発展に向け取り組んでいく指針とするものとして策定する。

目標設定

	現目標値 (令和6年)	現状値 (令和5年)	新目標値 (令和11年)
主目標:観光消費額	1,700億円	1,225億円	
副目標:観光入込数	2,000万人	1,760万人	
副目標:外国人観光消費単価	-	33,000円	
副目標:来訪者満足度	60%	52%	
副目標:県民の観光推奨度※	-	45%	
戦略目標:外国人宿泊者数	40万人	6.5万人	
戦略目標:県内宿泊客数	510万人	324万人	

※「地域を県外の人に自信を持って勧められる」県民の割合が高いほど県民幸福度の向上に寄与

目標値は調整中

目指す姿	現ビジョン:観光で「ブームを起こす」 1 価値を高める		現ビジョン:観光で「稼ぐ」 2 未来につなげる		現ビジョン: 観光で「世界を魅了する」 3 世界に選ばれる	現ビジョン: 観光で「心を満たす」 4 みんなが幸せになる
	戦略の柱		戦略の柱		戦略の柱	戦略の柱
取組みの方向性	(1) クオリティーと消費単価を高める	(2) ブランド力に磨きをかける	(3) 持続可能な観光地づくりを進める	(4) 観光投資を促す	(5) インバウンド目線で攻める	(6) 当事者として観光に関わる
	①「面」で楽しむ観光地づくり ・主要観光地を含むエリア、観光地と宿泊施設を結ぶルート、隣接する市町など、大小様々な「面」での観光地づくり ・観光地をつなぐ新たな二次交通の検討 →周遊観光の促進と高価格化を実現 ②宿泊先として選ばれる観光地へ ・来県目的となる多様かつ魅力的な宿泊施設の整備の拡充 ・民泊のブランド化などによる、ふくいの「旅」の価値向上 ・世界に顧客を持つホテル等の誘致 ・オーベルジュの誘致 →宿泊ボリュームを増強 ③スポーツツーリズム・文化芸術観光の聖地に ・ナショナルサイクルルートなど自然環境を活かしたスポーツイベントの開催 ・音楽フェスや国内外のアーティストが参画する国際的なアートイベント等の充実	①地域ブランドにストーリー性を ・食や歴史、伝統工芸、伝統芸能(お祭り等)、恐竜等をストーリー(物語)やヒストリー(歴史)とともに情報発信 ・「鯖街道」などの日本遺産を活用した情報発信 →市町を超えた地域ブランドの確立 ②MICE、教育旅行はふくい ・MICEや教育旅行、イベント、映像作品の撮影を地域連携で誘致 ・教育旅行やコンベンション等による平日と土日祝の平準化 ③ターゲットに合わせた誘客プロモーションの展開 ・ターゲットとする地域やペルソナに合わせた誘客イベントや出向宣伝 ・大阪・関西万博や中部縦貫道県内開通など大型イベントに向けた新たな情報発信・キャンペーン ・高山市など、他地域と連携したプロモーション	①県内全域での持続的な発展に向けて ・各地域のDMOを中心とした観光地マネジメント ・安定的な観光財源の確保 ・開業効果の県内全域への波及 ・外国人材の受入機関等の活用 ・通年で集客が見込める観光コンテンツの造成 ②持続可能な観光の実現に向けて再生型観光を強化 ・地域の宿等と連携した、旅行者へ地域の行事や農業体験等の商品化 ・旅行者の地域行事等参加による地域の活性化と暮らしの体験による旅行者の満足度向上 →ふくいの価値の向上と地域文化の継承 ③観光を支える、地域に根差した人づくり ・地域の観光を戦略的に牽引するリーダーや現場を支えるプレーヤーの育成・確保 ・個人旅行や富裕層に対応した有料ガイド等の育成	①投資が投資を呼ぶ好循環を ・宿泊施設や飲食店のリニューアルなど成功事例の周知による地域の観光事業者の投資意欲の増進 ・金融機関や事業支援機関と連携した投資相談体制の充実 ・投資を本県に呼び込めるコーディネーターと協力し、国内外からの投資を促進 ・地域で中心となり観光投資の受入を牽引するリーダーの確保 ②観光DXのさらなる推進 ・旅行者、観光事業者、行政それぞれに必要なマーケット情報の収集と適切なタイミングでの提供 ・翻訳機能や自動応答など多言語での接客ツールや入店整理システムの導入等による事業者省力化・効率化の推進と旅行者の利便性向上 ・観光DXリーダーの育成	①インバウンドに刺さる情報・体験を ・国や地域ごとのトレンドの分析と求められる体験の選定 ・海外の旅行会社へ本県特有の体験の売り込み ・海外メディア等を通じ世界への発信拡大 ・アウトバウンドの推進による相互交流の促進 ・本県で学ぶ留学生や技能実習生等外国人目線でのSNS等による情報発信 ②広域での周遊観光を ・近隣府県や交通機関等との連携による広域でのインバウンド誘客 ・中部縦貫自動車道を利用した広域観光ルートの人気定番化 ③富裕層を呼び込む ・ZENや越前刃物など唯一無二の観光資源を活用した欧米からの消費単価が高い富裕層の呼び込み ・富裕層向け案内ガイドの育成 ④インバウンドに快適な旅を ・多様な外国人旅行者の目線に立ったAIや遠隔通訳の活用による多言語対応など受入環境の高度化 ・事業者の外国人対応の強化	①県民の幸せ ・観光により地域が潤い住民が幸せになる効果の周知 ・地域活性化・観光誘客を図る県民主体の活動への支援 ・観光教育、ふるさと教育の推進 →地域に対する愛着と誇りの醸成 ②事業者の幸せ ・観光DX推進による生産性向上 ・事業者間連携による宿泊商品・体験コンテンツ・土産物などの商品開発・販売促進 →観光が地域の重要な成長産業となるよう事業者による投資を幅広く後押し ③旅行者の幸せ ・地域の温かいおもてなしや質の高いサービスの提供 ・旅行者のニーズに合わせた体験型観光などの造成、周知 ・地産地消、自然保全等SDGsの取組みの推進 →旅行者の福井への愛着を高め再来訪を促す